



修学旅行に行ってきました

校長 宮崎美代子

茅ヶ崎公園の木々の緑が日に日に濃くなっています。雨に濡れた紫陽花もきれいです。とてもすがすがしい気持ちになります。先日の土曜参観には、大勢の保護者の方にお集まりいただき、ありがとうございました。

土曜参観直前の6月4日(月)～6日(水)6年生は、群馬・日光方面への修学旅行に行ってきました。今年度から宿泊先を赤城林間学園にし、見学先も足尾銅山から富岡製糸場に変更しました。「協力して学ぼう 歴史の大海原」というスローガン(学年目標の“大海原”を忘れずに、3日間協力しながら歴史を学ぼうという意味)のもと日本の歴史や文化、自然に親しむとともに友達や先生との人間関係も深めるよい機会になったと思います。

1日目の東照宮では陽明門の美しい姿に感銘を覚えたのと同時に、国内外からの観光客の多さにもびっくりしました。滞在時間が短かったにもかかわらず、どのグループも家康の墓までがんばって歩きました。2日目は、岩宿博物館で石器作りや弓矢、やり投げ、火おこし体験等を行いました。硬いオオツノシカの角で、慎重に少しずつ黒曜石を削って、矢じりを作りました。子どもたちは、黒曜石の切れ味のよさに驚き、大昔の人々がいろいろな知恵をもっていたこと、生活に工夫を凝らしていたことに思いをはせることができたのではないかと思います。3日目の富岡製糸場は、今年度から見学場所に取り入れられました。雨が降る中でしたが、案内をしてくださる方のお話をしっかり聞きながら見学し、日本の近代化だけでなく、絹産業の技術革新・交流などにも大きく貢献した工場であることを学ぶことができました。

この修学旅行で、私が6年生に感心したことがいくつかあります。その中でも①きちんとあいさつができる子どもたちがたくさんいたこと、②団結してどんどん仕事を進めることができたこと、③いつも5分前行動ができていたこと、この3点は6年生の特長であり、これからも伸ばしてほしい強みであると思いました。

4年生の愛川宿泊体験学習、5年生の西湖宿泊体験学習も無事、終了しました。どの学年も多くのことを身に付けた宿泊体験になったと思います。私たち教職員も普段見ることのできない子どもたちの生活力について知ることのできるいい機会となりました。事前準備のご協力、ありがとうございました。この貴重な経験を今後の教育活動にいかしていきたいと思います。